

## 医療ドラマを書きたい人のための「現場のリアル」

### 「作家のマナビバ」 医療編 第2回

マンガ、テレビドラマ、映画、小説。エンタテインメントの世界で刑事モノと並んで双璧の人気を誇るのが医療モノです。人気ジャンルの医療ドラマに取り組んでみたい、でも、専門用語がよく分からないし、そもそも自分は医師でも看護師でもない。

だったら、全部を自分の目で見ている本当のお医者さんに聞いてみましょう！

「作家のマナビバ・医療編」では、医療の最前線で現役として活躍されているプロフェッショナルを招き、「医療現場のリアル」をお話していただきます。

今回のゲストは、腫瘍内科医師、つまりがん治療のプロフェッショナルです。

日本人の2人に1人がかかる「がん」。治療法は日々進歩し続けていますが、がんと向き合わざるを得なくなったとき、患者さんやご家族はそれぞれの悩みやつらさと直面します。

病状を冷静に観察し、その上で患者や家族と話し合っって最良な治療法を決める腫瘍内科医師。当事者が2019年のがん治療の最前線を教えてください。

### 作家のマナビバ「ひととがんと向き合うときドラマが生まれる」。

※「がん告知」はどういう手順で行われるのか？ 医師の心構えは？ 患者の反応は？  
(子供・働き盛りの大黒柱・シングルマザー・第一線を退いた高齢者・認知症など患者の事情で告知はどう変わるのか?)

※治療に伴うがん患者の心の変化と、医師・看護師の言葉のかけ方

※「診断」「治療」「5年生存」「再発」「終末期」など段階ごとに患者(とその家族)がどう変わるか? 「標準治療」「緩和ケア」の意味するものとは?

## 現役の医師が語るリアルな話の中に医療モノ創作のヒントを見つけましょう!

日時:2019年4月13日(土) 午後7時~8時30分(開場 午後6時30分)

会場:フォーラムエイト7階 (TEL03-3780-0008)

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 2-10-7 新大宗ビル(ハチ公改札口から徒歩5分)

受講料: 3,500円(一般) 3,000円(学生・東京作家大学受講生)

お申し込みは日本放送作家協会のホームページウェブサイト [w.hosakkyo2012.jp](http://w.hosakkyo2012.jp)より

講師: 渡邊 清高 (わたなべ きよたか)氏

帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科 准教授。専門分野:臨床腫瘍学、消化器病学。東京大学医学部卒。がんに関する信頼できる情報の発信と現場・地域のニーズに応じた普及に向けた取り組みを広く実践している。



お問い合わせは 一般社団法人 日本放送作家協会 イベント窓口 e-mail:[event@hosakkyo](mailto:event@hosakkyo)